



“森林環境税”の使い道に悩む
市町村自治体の担当者さんも必見！

自伐型林業 2018 フォーラム

7月14日（日） 場所：池袋YRイベントホール
参加費：無料 13:30 受付開始 14:00 スタート

日 本の国土の7割を森林が占めています。「地方再生」に取り組むならば、林業の再興、国産木材の有効活用こそ力を入れるべきです。「自伐型林業」は数ある林業方式の中でも低コストでありつつ、環境保全型なので、山を壊すことなく、公益的機能を維持します。そのため、持続的な森林経営を行うことができ、そのスタイルに共感した担い手が、全国各地に増えています。「森林環境税」の施行以降は一層、注目を浴びることが予想される自伐型林業について学んでみませんか？

1. 講演

14:05~15:30

「自伐型林業のすすめ

～全国に増え続ける事例紹介～

NPO法人自伐型林業推進協会 代表理事 中嶋健造氏

講演トピック「森林環境税の使い道」

2. 報告

15:40~16:20

「自伐型林業学部卒業生の活動報告
卒業生×中嶋氏×司会者トーク対談」



～福井で仲間と自伐型林業～

こしのくに里山再生の会 松平氏・高月氏

3. 紹介

16:30~16:50

「自伐型林業学部のご紹介と
第六期自伐型林業学部の募集要項」

地球のしごと大学／アースカラー 代表 高浜

地球のしごと大学／アースカラー 学部担当 田中

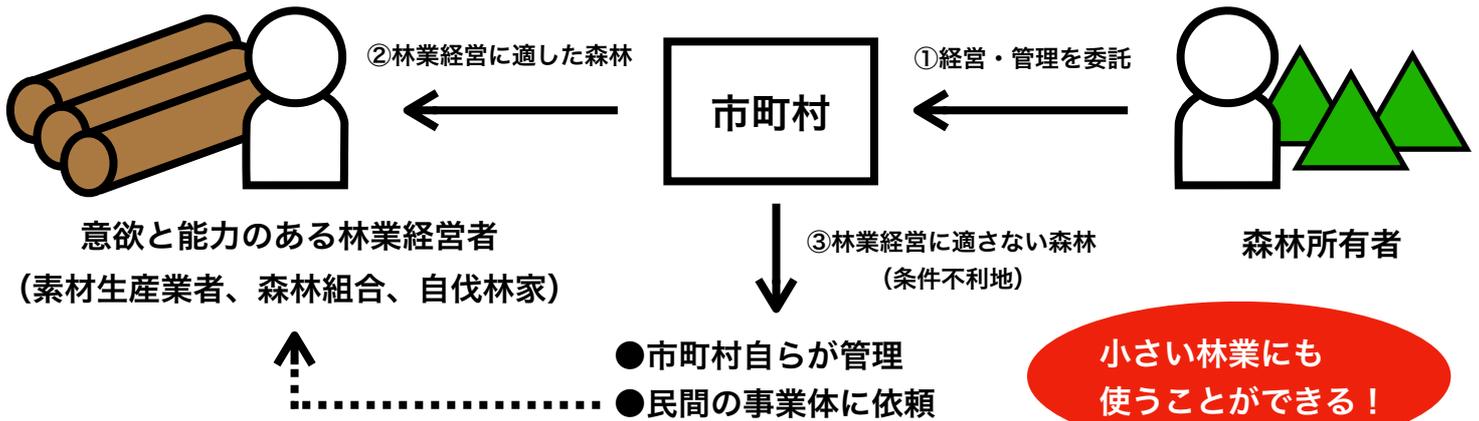
※フォーラム終了後、17:00より同会場で懇親会を行います。（参加費2,000円）



森林環境税とは？

国土保全、森林整備のために徴収される新税。

この新税は、下記「新たな森林管理システム」において使途される。活用の仕方は各市町村自治体に委ねられるもの。



①森林所有者が管理できない深林は、市町村に経営を委託

②市町村は預かった森林を「意欲と能力のある林業経営者」に再委託。林業経営の集積・集約化を進める

③自然的条件など林業経営に適さない森林は市町村が管理する。公的管理を行う費用は、森林環境税の一部を活用

当フォーラム共催団体

What is 自伐型林業推進協会？



NPO法人 持続可能な環境共生林業を実現する

自伐型林業推進協会

限られた森林の永続管理と、その限られた森林から持続的に収入を得ていく自伐型林業の展開を支援する組織。自伐型林業は、森林の経営や管理、施業を山林所有者や地域が自ら行う、自己責任型の林業で、収入アップのためには、木材の質の向上や森の多目的活用を目指すため、森を良好に維持していくことは必須条件です。収入をあげる施業と良好な森づくりを両立させる、地域に根ざした持続可能な環境保全林業の推進を牽引。



当フォーラム主催者

What is 地球のしごとと大學？

地球のしごとと大學

1. こんなことを目指しています

地球のしごとと大學とは、持続可能な地球を創る「しごと」の学び舎です。グローバル（地球）はローカル（地域）の集合体だと考え、ワクワクする「地球のしごと」を通して、まずは足元のローカル（地域）を温もりある持続可能な共同体へと変化させることが私たちの使命です。

2. こんなことをしています

衣食住にまつわる「暮らししごと」から、地域を支える「務めしごと」、農林水産・教育・医療福祉・ツーリズム・金融・商社・エネルギー・ものづくりなどの「稼ぎしごと」まで、日本の地域に根を張る美しく温かい「しごと」をピックアップ、現代流にアップデートし、1000年先を見据えた「しごとモデル」の開発と人材の育成・輩出を行っています。

自伐型林業フォーラム2018へのお申し込み方法

お申し込みフォームのURL または QRコード から必要事項の記入をお願いいたします。

<https://pro.form-mailer.jp/fms/81689d11147194>

お問い合わせ先：地球のしごとと大學（株式会社アースカラー） Mail： info@earthcolor.org 担当：田中 新吾

